

令和3年度
真木地区簡易水道施設整備工事
(桑西水源取水施設工)

数量計算書

大月市役所 産業建設部 地域整備課

真木地区簡易水道施設整備工事 (桑西水源取水施設工)

数量計算書 目次

1. 桑西水源 さく井工
 - 1-1. 1号井及び3号井さく井工
 - 1-2. 2号井さく井工
 - 1-3. さく井工損料日数計算
2. 桑西水源接合井工
 - 2-1. 桑西水源接合井本体工
 - 2-2. 桑西水源接合井基礎工
3. 桑西水源 場内配管工
 - 3-1. 場内配管材料・労務
 - 3-2. 場内配管土工
4. 桑西水源 場内整備工

1. 桑西水源 さく井工

1-1. 1号井さく井工

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.1

種 別 : 1-1掘削費(サーフェスキューシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	スピンドルA		
	参考値 ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
406.4mmサーフェスキューシング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{ m}^2$		
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi / 4 = 0.0993 \text{ m}^2$		
掘削断面積比率	$0.1297 / 0.0993 = 1.31$		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
	406.4mm×11m		
技師B	$3/100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$	0.4	人
さく井主任	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井技師	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井工	$40/100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$	6	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.2

種 別 : 1-2.掘削費(本設ケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	单 位
(労務費)			
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
	200A 11~40m		
技師B	$2/100 \times (100-29) = 1.4$	1	人
さく井主任	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井技師	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井工	$24/100 \times (100-29) = 17.0$	17	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.3

種 別 : 2.材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(材料費)			
サーフェスケーシングパイプ	406.4mm 6.0m 片側ベベル加工 STK400 滑り止め付	2	本
	$11/6 = 1.8$		
ケーシングパイプ	200A 5.5m 片側ベベル加工 SGP 滑り止め付 JIS G 3452	6	本
	$(30)/5.5 = 5.5$		
スクリーン	200A SUS304 連続Vスロット巻線型	2	本
	計画井戸構造図の通り 2.00		
遮水用 ベントナイトグラベル	1袋=0.018m ³	12	袋
	サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m)		
	サーフェスケーシング部掘削口径 508mm		
	$0.508^2 \times \pi / 4 \times 1 = 0.203$		
	$0.203 / 0.018 = 11.3$		
充填砂利		3.1	m ³
サーフェスケーシング部 (11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 11 = 0.94$		
本設ケーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 29 = 2.13$		
	合計 3.07		
ボトム装置	200A用 SUS304(スクリーン型)	1	個

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.4

種 別 : 3.消耗材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$		
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	11～40m 374.7mm	2.0	個
	$2.2/100 \times (100-11) = 1.96$		
スタビライザー	11～40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-11) = 0.134$		
ドリルパイプ類	11～40m	7.6	m
	$8.5/100 \times (100-11) = 7.57$		
ベントナイト	11～40m	3.6	t
	$4/100 \times (100-11) = 3.56$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	单 位
(サーフェスケージング 挿入消耗材料費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】		
406.4mmサーフェスケージング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277\text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117\text{m}$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
溶接棒	φ3.2 STK用 JIS Z 3211	1.9	kg
	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.88$		
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%	1	式

名 称	計 算 式	数 量 単 位
(本設ケーシング挿入消耗材料費)		
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。	
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】	
溶接棒	JIS Z 3221 φ 3.2	2.0 kg
	$5 \times (40/100) = 2.00$	
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%	1 式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(動力燃料消耗材料)			
	150kVA×1台(ハtrol給油)(131頁第19-1表)		
掘さく時燃料	サーフェスケーシング用 0~11m、406.4mm (350A,100mを基準とする)	209	L
(サーフェスケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 $1448/100 \times 11 \times 1.31 = 208.7$		
掘さく時燃料	本設ケーシング用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)	717	L
(本設ケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度 $805/100 \times (100-11) = 716.5$		
サーフェスケーシング時燃料	サーフェスケーシング用 406.4mm×0~11m(350A,100mを基準とする)	25	L
	参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 $193/100 \times 11 \times 1.14 = 24.2$		
ケーシング挿入時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $134/100 \times 40 = 54$		
砂利充填時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $134/100 \times 40 = 54$		
仕上げ時燃料	仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準とする)	670	L
	参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 $201/3 \times 10 = 670.0$		
揚水試験時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	242	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $604/100 \times 40 = 242$		

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.5

種 別 : 4.電気(孔内)検層費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
技師A		1	人
技師B		1	人
さく井主任		1	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
消耗品	上記計の5%	1	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.6

種 別 : 5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周比率】		
406.4mmサーフェスケーシング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277m$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117m$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
	406.4mm×0~11m		
技師B	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井主任	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井技士	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人
さく井工	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$	2	人
溶接工	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.8

種 別 : 6.砂利充填・遮水費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
(労務費)砂利充填			
技師B	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井主任	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井技士	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井工	$0.75/100 \times 40 = 0.30$	0.30	人
(材料費)			
砂利	2号珪砂 $= 1.80$	1.8	m ³
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \div 8.0 \times 2 \text{時間} = 16.7$	16.7	リットル
(労務費)遮水			
技師B	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井主任	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井技士	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井工	$5/100 \times 40 = 2.00$	2.00	人

(材料費)			
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0 袋
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0 本
(雑材消耗費)			
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1 式
(動力燃料費)			
軽油		67.1×1日 = 67.1	67.1 リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.9

種 別 : 7.仕上費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(仕上工)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
技師B	$2.4/100 \times 40 = 1.0$	1	人
さく井主任	$7.6/100 \times 40 = 3.0$	3	人
さく井技士	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
さく井工	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \times 7日 = 469.7$	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.10

種 別 : 8.揚水試験費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	段階・連続・回復試験		
(労務費)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
さく井主任		10	人
さく井技士		10	人
さく井工		13	人
(水質検査費)			
水質分析費	原水全項目	1	検体
(雑材消耗費)			
消耗材料	人件費の1% = 1.00	1	式
(動力費)			
軽油	67.1×7日 = 469.7	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.11

種 別 : 9.残泥土処理費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(産業廃棄物処理)			
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7m ³ 24.66/7=4台	4	台
中間処理受諾料金		24.7	m ³
サーフェスケーシング部掘削口径		508mm	
本設ケーシング部掘削口径		374.7mm	
サーフェスケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による	11m	
本設ケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による 40-11=29m 29m		
サーフェスケーシング部掘削断面積		$0.508^2 \times \pi / 4 = 0.203 \text{ m}^2$	
本設ケーシング部掘削断面積		$0.3747^2 \times \pi / 4 = 0.110 \text{ m}^2$	
サーフェスケーシング部掘削実体積 ①		$0.203 \times 11 = 2.23 \text{ m}^2$	
本設部ビット掘削実体積 ②		$0.110 \times 29 = 3.19 \text{ m}^3$	
上記実体積①②に体積増し係数7を乗じ、泥水を循環利用するため、0.65を乗じる。		$(2.23+3.19) \times 7 \times 0.65 = 24.66 \text{ m}^3$	

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.12

種 別 : 10.機械組立解体費(仮設費)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(準備)			
技師B		1	人
さく井主任		2	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
(機械組立解体)	スピンドルA		
技師B		2	人
さく井主任		9	人
さく井技士		10	人
さく井工		15	人
とび工		6	
設備機械工		5	人
(諸仮設)			
技士B		1	人
電工		3	人
配管工		4	人
普通作業員		5	人
(重機費)			
0.28m ³ バックホウ		3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	日
トラッククレーン	6t	2	日
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.13

種 別 : 11.機械器具損料

名 称	計 算 式	数 量	単 位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	日
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	日
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	日
泥水タンク	10m ³ ×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.14

種 別 : 12.報告書作成費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(報告書作成)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
工事写真		1	式
印刷製本費		3	部
地質標本箱	展示用標本含む	1	式

1-2. 2号井さく井工

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.1

種 別 : 1-1掘削費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	スピンドルA		
	参考値 ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
406.4mmサーフェスケーシング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{ m}^2$		
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi / 4 = 0.0993 \text{ m}^2$		
掘削断面積比率	$0.1297 / 0.0993 = 1.31$		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
	406.4mm×11m		
技師B	$3/100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$	0.4	人
さく井主任	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井技師	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井工	$40/100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$	6	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.2

種 別 : 1-2.掘削費(本設ケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
	200A 11~40m		
技師B	$2/100 \times (100-29) = 1.4$	1	人
さく井主任	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井技師	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井工	$24/100 \times (100-29) = 17.0$	17	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.3

種 別 : 2.材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(材料費)			
サーフェスケーシングパイプ	406.4mm 6.0m 片側ベベル加工 STK400 滑り止め付	2	本
	11/6 = 1.8		
ケーシングパイプ	200A 5.5m 片側ベベル加工 SGP 滑り止め付 JIS G 3452	6	本
	(30)/5.5 = 5.5		
スクリーン	200A SUS304 連続Vスロット巻線型	2	本
	計画井戸構造図の通り 2.00		
遮水用 ベントナイトグラベル	1袋=0.018m ³	12	袋
	サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m)		
	サーフェスケーシング部掘削口径 508mm		
	$0.508^2 \times \pi / 4 \times 1 = 0.203$		
	$0.203 / 0.018 = 11.3$		
充填砂利		3.1	m ³
サーフェスケーシング部 (11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 11 = 0.94$		
本設ケーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 29 = 2.13$		
	合計 3.07		
ボトム装置	200A用 SUS304(スクリーン型)	1	個

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.4

種 別 : 3.消耗材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$		
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	12～40m 374.7mm	1.9	個
	$2.2/100 \times (100-12) = 1.94$		
スタビライザー	12～40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-12) = 0.132$		
ドリルパイプ類	12～40m	7.5	m
	$8.5/100 \times (100-12) = 7.48$		
ベントナイト	12～40m	3.5	t
	$4/100 \times (100-12) = 3.52$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(サーフェスケーシング 挿入消耗材料費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】		
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277m$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117m$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
溶接棒	φ3.2 STK用 JIS Z 3211	2.1	kg
	$15/100 \times 12 \times 1.14 = 2.05$		
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(動力燃料消耗材料)			
	150kVA×1台(ハtrol給油)(131頁第19-1表)		
掘さく時燃料	サーフェスケーシング用 0~12m、406.4mm (350A,100mを基準とする)	228	L
(サーフェスケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 $1448/100 \times 12 \times 1.31 = 227.6$		
掘さく時燃料	本設ケーシング用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)	709	L
(本設ケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度 $805/100 \times (100-12) = 708.4$		
サーフェスケーシング時燃料	サーフェスケーシング用 406.4mm×0~12m(350A,100mを基準とする)	27	L
	参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 $193/100 \times 12 \times 1.14 = 26.4$		
ケーシング挿入時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $134/100 \times 40 = 54$		
砂利充填時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $134/100 \times 40 = 54$		
仕上げ時燃料	仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準とする)	670	L
	参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 $201/3 \times 10 = 670.0$		
揚水試験時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	242	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $604/100 \times 40 = 242$		

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.5

種 別 : 4.電気検層費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
技師A		1	人
技師B		1	人
さく井主任		1	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
消耗品	上記計の5%	1	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.6

種 別 : 5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周比率】		
406.4mmサーフェスケーシング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277\text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117\text{m}$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
	406.4mm×0～11m		
技師B	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井主任	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井技士	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人
さく井工	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$	2	人
溶接工	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.7

種 別 : 5-2.ケーシング挿入費(本設ケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】 ÷ 【基準深度】 × 【設計掘削深度】		
(労務費)			
技師B	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
さく井主任	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
さく井技師	$1/100 \times 29 = 0.3$	1	人
さく井工	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
溶接工	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.8

種 別 : 6.砂利充填・遮水費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
(労務費)砂利充填			
技師B	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井主任	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井技士	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井工	$0.75/100 \times 40 = 0.30$	0.30	人
(材料費)			
砂利	2号珪砂 $= 1.80$	1.8	m ³
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \div 8.0 \times 2 \text{時間} = 16.7$	16.7	リットル
(労務費)遮水			
技師B	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井主任	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井技士	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井工	$5/100 \times 40 = 2.00$	2.00	人

(材料費)			
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0 袋
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0 本
(雑材消耗費)			
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1 式
(動力燃料費)			
軽油		67.1×1日 = 67.1	67.1 リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.9

種 別 : 7.仕上費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(仕上工)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
技師B	$2.4/100 \times 40 = 1.0$	1	人
さく井主任	$7.6/100 \times 40 = 3.0$	3	人
さく井技士	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
さく井工	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \times 7日 = 469.7$	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.10

種 別 : 8.揚水試験費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	段階・連続・回復試験		
(労務費)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
さく井主任		10	人
さく井技士		10	人
さく井工		13	人
(水質検査費)			
水質分析費	原水全項目	1	検体
(雑材消耗費)			
消耗材料	人件費の1% = 1.00	1	式
(動力費)			
軽油	67.1×7日 = 469.7	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.11

種 別 : 9.残泥土処理費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(産業廃棄物処理)	令和2年度水道事業実務必携134頁 第27表		
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7m ³ 25.12/7=4台	4	台
中間処理受諾料金		25.2	m ³
サーフェスキューシング部掘削口径			508mm
本設ケーシング部掘削口径			374.7mm
サーフェスキューシング部掘削深度	計画井戸構造図による		12m
本設ケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による 40-12=28m 28m		
サーフェスキューシング部掘削断面積			$0.508^2 \times \pi / 4 = 0.203 \text{ m}^2$
本設ケーシング部掘削断面積			$0.3747^2 \times \pi / 4 = 0.110 \text{ m}^2$
サーフェスキューシング部掘削実体積 ①			$0.203 \times 12 = 2.44 \text{ m}^3$
本設部ビット掘削実体積 ②			$0.110 \times 28 = 3.08 \text{ m}^3$
上記実体積①②に体積増し係数7を乗じ、泥水を循環利用するため、0.65を乗じる。			$(2.44+3.08) \times 7 \times 0.65 = 25.12 \text{ m}^3$

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.12

種 別 : 10.機械組立解体費(仮設費)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(準備)			
技師B		1	人
さく井主任		2	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
(機械組立解体)	スピンドルA		
技師B		2	人
さく井主任		9	人
さく井技士		10	人
さく井工		15	人
とび工		6	
設備機械工		5	人
(諸仮設)			
技士B		1	人
電工		3	人
配管工		4	人
普通作業員		5	人
(重機費)			
0.28m ³ バックホウ		3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	日
トラッククレーン	6t	2	日
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.13

種 別 : 11.機械器具損料

名 称	計 算 式	数 量	単 位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	日
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	日
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	日
泥水タンク	10m ³ ×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.14

種 別 : 12.報告書作成費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(報告書作成)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
工事写真		1	式
印刷製本費		3	部
地質標本箱	展示用標本含む	1	式

1-3. 3号井さく井工

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.1

種 別 : 1-1掘削費(サーフェスキューシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	スピンドルA 参考値 ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
406.4mmサーフェスキューシング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{ m}^2$		
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi / 4 = 0.0993 \text{ m}^2$		
掘削断面積比率	$0.1297 / 0.0993 = 1.31$		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
	406.4mm×11m		
技師B	$3 / 100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$	0.4	人
さく井主任	$25 / 100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井技師	$25 / 100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$	4	人
さく井工	$40 / 100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$	6	人

工 種 ： 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.2

種 別 ： 1-2.掘削費(本設ケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
	200A 11~40m		
技師B	$2/100 \times (100-29) = 1.4$	1	人
さく井主任	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井技師	$12/100 \times (100-29) = 8.5$	9	人
さく井工	$24/100 \times (100-29) = 17.0$	17	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.3

種 別 : 2.材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(材料費)			
サーフェスケーシングパイプ	406.4mm 6.0m 片側へベル加工 STK400 滑り止め付	2	本
	$11/6 = 1.8$		
ケーシングパイプ	200A 5.5m 片側へベル加工 SGP 滑り止め付 JIS G 3452	6	本
	$(30)/5.5 = 5.5$		
スクリーン	200A SUS304 連続Vスロット巻線型	2	本
	計画井戸構造図の通り 2.00		
遮水用 ベントナイトグラベル	1袋=0.018m ³	12	袋
	サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m)		
	サーフェスケーシング部掘削口径 508mm		
	$0.508^2 \times \pi / 4 \times 1 = 0.203$		
	$0.203 / 0.018 = 11.3$		
充填砂利		3.1	m ³
サーフェスケーシング部 (11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 11 = 0.94$		
本設ケーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 29 = 2.13$		
	合計 3.07		
ボトム装置	200A用 SUS304(スクリーン型)	1	個

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.4

種 別 : 3.消耗材料費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$		
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	11～40m 374.7mm	2.0	個
	$2.2/100 \times (100-11) = 1.96$		
スタビライザー	11～40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-11) = 0.134$		
ドリルパイプ類	11～40m	7.6	m
	$8.5/100 \times (100-11) = 7.57$		
ベントナイト	11～40m	3.6	t
	$4/100 \times (100-11) = 3.56$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(サーフェスケーシング 挿入消耗材料費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】		
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277\text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117\text{m}$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
溶接棒	φ3.2 STK用 JIS Z 3211	1.9	kg
	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.88$		
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(本設ケーシング挿入消耗材料費)			
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
溶接棒	JIS Z 3221 φ3.2	2.0	kg
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%	1	式

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(動力燃料消耗材料)			
掘さく時燃料	150kVA×1台(ハtrol給油)(131頁第19-1表) サーフェスケーシング用 0~11m、406.4mm (350A,100mを基準とする)	209	L
(サーフェスケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 $\frac{1448}{100} \times 11 \times 1.31 = 208.7$		
掘さく時燃料	本設ケーシング用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)	717	L
(本設ケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度 $\frac{805}{100} \times (100-11) = 716.5$		
サーフェスケーシング時燃料	サーフェスケーシング用 406.4mm×0~11m(350A,100mを基準とする)	25	L
	参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 $\frac{193}{100} \times 11 \times 1.14 = 24.2$		
ケーシング挿入時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $\frac{134}{100} \times 40 = 54$		
砂利充填時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $\frac{134}{100} \times 40 = 54$		
仕上げ時燃料	仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準とする)	670	L
	参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 $\frac{201}{3} \times 10 = 670.0$		
揚水試験時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	242	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 $\frac{604}{100} \times 40 = 242$		

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.5

種 別 : 4.電気(孔内)検層費

名 称	計 算 式	数 量	单 位
(労務費)			
技師A		1	人
技師B		1	人
さく井主任		1	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
消耗品	上記計の5%	1	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.6

種 別 : 5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(労務費)			
	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周比率】		
406.4mmサーフェスケーシング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277\text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117\text{m}$		
円周比率	$1.277/1.117 = 1.14$		
	406.4mm×0～11m		
技師B	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井主任	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$	1	人
さく井技士	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人
さく井工	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$	2	人
溶接工	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$	1	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.7

種 別 : 5-2.ケーシング挿入費(本設ケーシング)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
(労務費)			
技師B	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
さく井主任	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
さく井技師	$1/100 \times 29 = 0.3$	1	人
さく井工	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人
溶接工	$2/100 \times 29 = 0.6$	1	人

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.8

種 別 : 6.砂利充填・遮水費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
(労務費)砂利充填			
技師B	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井主任	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井技士	$0.37/100 \times 40 = 0.15$	0.15	人
さく井工	$0.75/100 \times 40 = 0.30$	0.30	人
(材料費)			
砂利	2号珪砂 $= 1.80$	1.8	m ³
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \div 8.0 \times 2 \text{時間} = 16.7$	16.7	リットル
(労務費)遮水			
技師B	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井主任	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井技士	$2.5/100 \times 40 = 1.00$	1.00	人
さく井工	$5/100 \times 40 = 2.00$	2.00	人

(材料費)			
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0 袋
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0 本
(雑材消耗費)			
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1 式
(動力燃料費)			
軽油		67.1×1日 = 67.1	67.1 リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.9

種 別 : 7.仕上費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(仕上工)	ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
技師B	$2.4/100 \times 40 = 1.0$	1	人
さく井主任	$7.6/100 \times 40 = 3.0$	3	人
さく井技士	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
さく井工	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% $= 1.00$	1	式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \times 7日 = 469.7$	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.10

種 別 : 8.揚水試験費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
	段階・連続・回復試験		
(労務費)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
さく井主任		10	人
さく井技士		10	人
さく井工		13	人
(水質検査費)			
水質分析費	原水全項目	1	検体
(雑材消耗費)			
消耗材料	人件費の1% = 1.00	1	式
(動力費)			
軽油	67.1×7日 = 469.7	469.0	リットル

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.11

種 別 : 9.残泥土処理費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(産業廃棄物処理)			
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7m ³ 24.66/7=4台	4	台
中間処理受諾料金		24.7	m ³
サーフェスケーシング部掘削口径		508mm	
本設ケーシング部掘削口径		374.7mm	
サーフェスケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による	11m	
本設ケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による 40-11=29m 29m		
サーフェスケーシング部掘削断面積		$0.508^2 \times \pi / 4 = 0.203 \text{ m}^2$	
本設ケーシング部掘削断面積		$0.3747^2 \times \pi / 4 = 0.110 \text{ m}^2$	
サーフェスケーシング部掘削実体積 ①		$0.203 \times 11 = 2.23 \text{ m}^3$	
本設部ビット掘削実体積 ②		$0.110 \times 29 = 3.19 \text{ m}^3$	
上記実体積①②に体積増し係数7を乗じ、泥水を循環利用するため、0.65を乗じる。		$(2.23+3.19) \times 7 \times 0.65 = 24.66 \text{ m}^3$	

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.12

種 別 : 10.機械組立解体費(仮設費)

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(準備)			
技師B		1	人
さく井主任		2	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
(機械組立解体)	スピンドルA		
技師B		2	人
さく井主任		9	人
さく井技士		10	人
さく井工		15	人
とび工		6	
設備機械工		5	人
(諸仮設)			
技士B		1	人
電工		3	人
配管工		4	人
普通作業員		5	人
(重機費)			
0.28m ³ バックホウ		3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	日
トラッククレーン	6t	2	日
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.13

種 別 : 11.機械器具損料

名 称	計 算 式	数 量	単 位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	日
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	日
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	日
泥水タンク	10m ³ ×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

工 種 : 1.取水井さく井工事(ロータリー工法)

No.14

種 別 : 12.報告書作成費

名 称	計 算 式	数 量	単 位
(報告書作成)			
主任技師		1	人
技師A		1	人
技師B		3	人
工事写真		1	式
印刷製本費		3	部
地質標本箱	展示用標本含む	1	式

1-4. さく井工損料日数計算

工 種		さく井工損料日数計算				
さく井工						
名 称	形状・寸法	計 算 式		数 量	単 位	摘 要
機械器具損料						
ロータリーさく井機		① 11	② 14	25.0	日	
泥水ポンプ		① 4	② 5	9.0	日	
掘さく櫓		① 11	② 14	25.0	日	
電気溶接機	定格二次電流300A	① 1		1.0	日	
全自動溶接機			④ 4	4.0	日	
工事用サンドポンプ類他	φ150×11kW	① 6	② 6	12.0	日	
発電機		① 8	② 8	16.0	日	
仮設・揚水試験用ポンプ		① 1		1.0	式	
電気検層装置	自動検層装置		③ 1	1.0	日	
マッドスクリーン		① 2	② 2	4.0	日	
泥水ミキサー	AC200V 11kW	① 2	② 2	4.0	日	
ウォータスイベル		① 11	② 14	25.0	日	
動力ウインチ		① 1	② 2	3.0	日	

2. 桑西水源接合并工

2-1. 桑西水源接合并本体工

2-2. 桑西水源接合并基礎工

数量計算書

工種：基礎版工事			
種別	単位	算式	数量
均しコンクリート工	m3	$\sigma = 18\text{N/mm}^2$ 無筋構造物 均しコン	
		本体部 $4.200 \times 9.200 \times 0.100$	= 3.864
		仕切弁部 $0.500 \times 1.000 \times 0.100$	= 0.050
		合計 =	3.914
			4.0
均し型枠工	m2	均し型枠	
		本体部 $(4.200 + 9.200) \times 2 \times 0.100$	= 2.680
		仕切弁部 $0.500 \times 2 \times 0.100$	= 0.100
		合計 =	2.780
			2.8
コンクリート工	m3	$\sigma = 24\text{N/mm}^2$ 鉄筋構造物	
		本体部 $4.000 \times 9.000 \times 0.400$	= 14.400
		仕切弁部 $0.500 \times 0.800 \times 0.400$	= 0.160
		勾配部 $4.000 \times 0.030 \times 1/2 \times 9.000$	= 0.540
		立上り $(0.600 + 0.570) / 2 \times 3.400 \times 0.400 \times 5$	= 3.978
		合計 =	19.078
	19.1		

3. 桑西水源 場内配管工

3-1. 場内配管材料・労務

接合井排水管・越流管(材料)

HPPE φ150

名称	形状寸法	単位	管長	数量				延長
				図面		切管	計	
配水用ホリイフン管 EF片受直管	φ150×5,000	本	5.00	16			16	80.00
配水用ホリイフン管 EFフレンジ直管	φ150×5,000	本				6	6	26.31
配水用ホリイフン管 EF両受チーズ	φ150×φ150	個	0.90	3			3	2.70
配水用ホリイフン管 EF両受ベンド	φ150×90°	個	0.66	9			9	5.94
配水用ホリイフン管 EF片受ベンド	φ150×45°	個	0.62	2			2	1.24
配水用ホリイフン管 EF両受ベンド	φ150×45°	個	0.46	6			6	2.76
配水用ホリイフン管 EFソケット	φ150	個		3			3	
配水用ホリイフン管 EFフランジ	φ150 7.5K SUS	個	0.34	4			4	1.36
PE挿口付 ソフトシール仕切弁	φ150	基	0.57	2			2	1.14
仕切弁筐	DPO.6m用 座台共	個		2			2	
フランジ接合材	φ150	組		4			4	
管保温材	φ150用	m		6.8	(1.7*4)		6.8	
材料延長							計	121.45
図面延長								121.45
誤差								

切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m

		(φ150)							
		甲切管	乙切管			計	残管	切断工	
(接合井排水管・越流管)									
1		3.260	1.390				4.650 m	0.350 m	2 口
2		4.500					4.500 m	0.500 m	1 口
3		1.080	0.590	0.640	0.430	0.430	3.170 m	1.830 m	5 口
4		3.010	0.420	0.570	0.430		4.430 m	0.570 m	4 口
5		4.130	0.430				4.560 m	0.440 m	2 口
6		4.500	0.500				5.000 m		1 口
合 計		本数 (φ150×5,000)					26.310 m	3.690 m	15 口
		直管 = 6 本							
		受口付直管 = 本							
合 計		本数 (φ150×5,000)							
		直管 = 本							
		受口付直管 = 本							

導水管(材料)

HPPE φ100

名 称	形状寸法	単位	管長	数 量					延長
				図面			切管	計	
配水用ホ ^レ リチン管 EF片受直管	φ100×5,000	本	5.00	1				1	5.00
配水用ホ ^レ リチン管 EFフ ^レ ンエト ^ク 直管	φ100×5,000	本					5	5	19.70
配水用ホ ^レ リチン管 EF両受チーズ	φ100×φ100	個	0.44	1				1	0.44
配水用ホ ^レ リチン管 EF両受ベンド	φ100×90°	個	0.50	5				5	2.50
配水用ホ ^レ リチン管 EF両受ベンド	φ100×45°	個	0.38	3				3	1.14
配水用ホ ^レ リチン管 EF片受ベンド	φ100×45°	個	0.49	3				3	1.47
配水用ホ ^レ リチン管 EF片受Sベンド	φ100×H300	個	0.79	1				1	0.79
配水用ホ ^レ リチン管 EFソケット	φ100	個		3				3	
配水用ホ ^レ リチン管 EFフランジ	φ100 7.5K SUS	個	0.32	2				2	0.64
配水用ホ ^レ リチン管 EFキャップ	φ100	個	0.12	1				1	0.12
PE挿口付 ソフトシール仕切弁	φ100	基	0.46	2				2	0.92
仕切弁筐	DP0. 6m~0. 90m用 座台共	個		2				2	
フランジ接合材	φ100	組		2				2	
管保温材	φ100用	m		3.8	(1.9*2)			3.8	
								材料延長	
								計	32.72
								図面延長	32.72
								誤差	

切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m

		(φ100)							
甲切管		乙切管				計	残管	切断工	
(導水管)									
1		3.000	0.860				3.860 m	1.140 m	2 口
2		3.540	0.790				4.330 m	0.670 m	2 口
3		4.390					4.390 m	0.610 m	1 口
4		2.740	0.860				3.600 m	1.400 m	2 口
5		2.680	0.840				3.520 m	1.480 m	2 口
合 計		本数 (φ100×5,000)					19.700 m	5.300 m	9 口
		直管 = 5 本							
		受口付直管 = 本							
合 計		本数 (φ100×5,000)							
		直管 = 本							
		受口付直管 = 本							

ろ過流入管(材料)

HPPE φ75

名 称	形状寸法	単 位	管長	数 量					延長
				井1	井2	井3	切管	計	
配水用PEリフレ管 EF片受直管	φ75×5,000	本	5.00	12	7	15		34	170.00
配水用PEリフレ管 EFプレート直管	φ75×5,000	本					11	11	52.04
配水用PEリフレ管 EF両受チーズ	φ75×φ75	個	0.35	1	1	1		3	1.05
配水用PEリフレ管 EF両受ベンド	φ75×90°	個	0.44	6	6	6		18	7.92
配水用PEリフレ管 EF片受ベンド	φ75×90°	個	0.54	1	1	1		3	1.62
配水用PEリフレ管 EF両受ベンド	φ75×45°	個	0.38	4	5	4		13	4.94
配水用PEリフレ管 EF片受ベンド	φ75×45°	個	0.48	1	1			2	0.96
配水用PEリフレ管 EFソケット	φ75	個		2	1	2		5	
配水用PEリフレ管 EF片受Sベンド	φ75×300H	個	0.78	2	1	1		4	3.12
配水用PEリフレ管 EF両受Sベンド	φ75×300H	個	0.68		1			1	0.68
配水用PEリフレ管 EF片受レデューサ	φ75×φ50	個	0.34	1	1	1		3	1.02
配水用PEリフレ管 EFフランジ	φ75 7.5K SUS	個	0.26	2	2	2		6	1.56
配水用PEリフレ管 EF片受フランジ	φ50 7.5K SUS	個	0.16	1	1	1		3	0.48
PE挿口付 ソフトシール仕切弁	φ75	基	0.40	2	2	2		6	2.40
仕切弁筐	DPO. 6m用 座台共	個		2	2	2		6	
フランジ接合材	φ75	組		2	2	2		6	
フランジ接合材	φ50	組		1	1	1		3	
管保温材	φ75用	m		5.1	4.8	5.1		15	

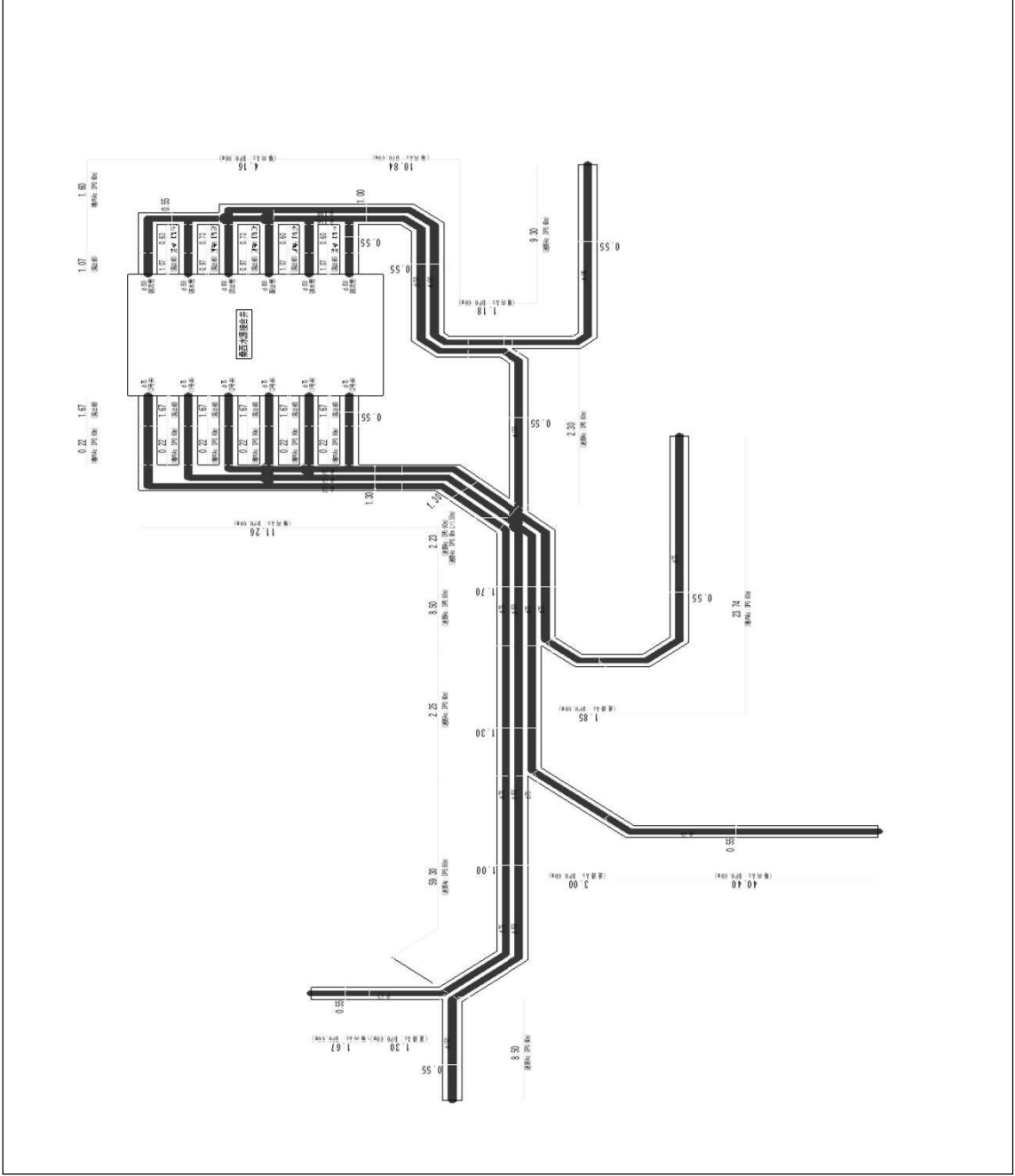
材料延長	
計	247.79
図面延長	247.79
誤差	

切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m

		(φ75)							
甲切管		乙切管				計	残管	切断工	
(1~3号導水管)									
1		4.240	0.600				4.840 m	0.160 m	2 口
2		3.330	1.000	0.600			4.930 m	0.070 m	3 口
3		2.730	1.730				4.460 m	0.540 m	2 口
4		4.070	0.900				4.970 m	0.030 m	2 口
5		2.730	0.830	0.900			4.460 m	0.540 m	3 口
6		2.480	1.050	0.740	0.430		4.700 m	0.300 m	4 口
7		4.600	0.350				4.950 m	0.050 m	2 口
8		2.730	0.600	0.600	1.030		4.960 m	0.040 m	4 口
9		2.500	0.650	0.600	0.600		4.350 m	0.650 m	4 口
10		4.770					4.770 m	0.230 m	1 口
11		1.390	1.030	1.630	0.600		4.650 m	0.350 m	4 口
合 計		本数 (φ75×5,000)					52.040 m	2.960 m	31 口
		直管 = 11 本							
		受口付直管 = 1 本							
合 計		本数 (φ75×5,000)							
		直管 = 本							
		受口付直管 = 本							

3-2. 場内配管土工

土工概略图



配水池配管土工集計表

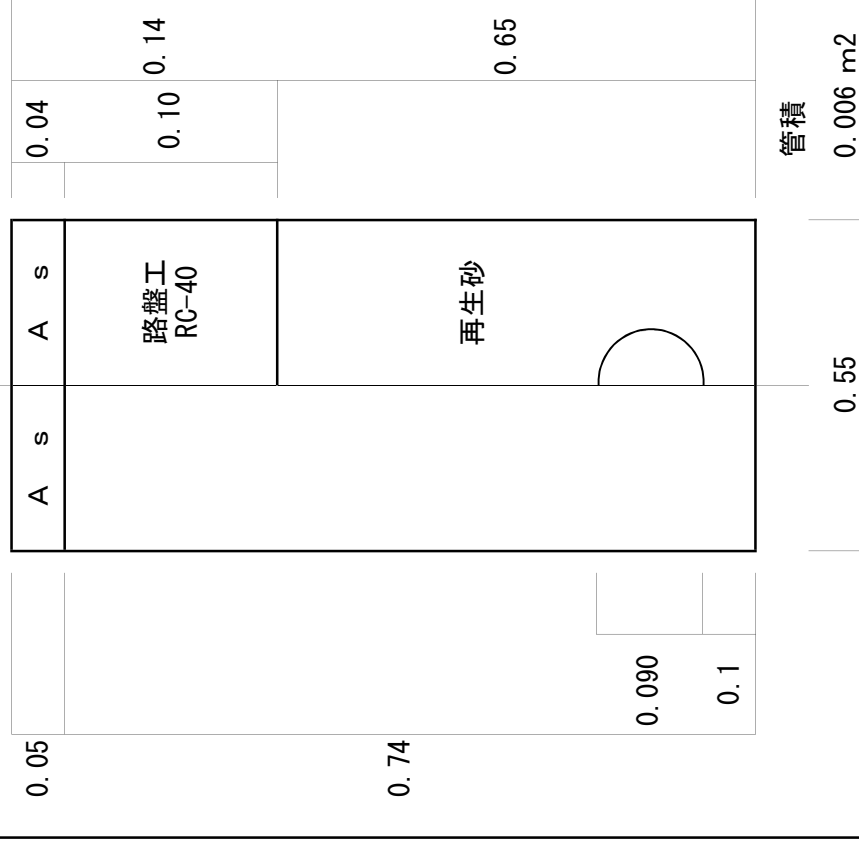
工 種	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5	タイプ6	タイプ7	タイプ8	タイプ9	タイプ10	タイプ11	タイプ12	タイプ13	タイプ14	タイプ15	計	改め
	配水管 HPPE φ75	配水管 HPPE φ75	配水管 HPPE φ100	配水管 HPPE φ150	配水管 HPPE φ100 φ150	配水管 HPPE φ100 φ150	配水管 HPPE φ75 φ75 φ75	配水管 HPPE φ100	配水管 HPPE φ150	配水管 HPPE φ150	配水管 HPPE φ100 φ150	配水管 HPPE φ75 φ75 φ75	配水管 HPPE φ75	配水管 HPPE φ75 φ150	配水管 HPPE φ75 φ75 φ150		
	0.55	0.55	0.55	0.55	1.00	1.00	1.30	0.55	0.55	1.00	1.00	1.30	1.30	1.30	1.70		
	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	0.60	0.90	0.90	0.60	0.60	0.90	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60		
	66.69	0.44	1.40	3.43	10.84	4.16	11.26	9.30	10.80	59.30	1.18	0.73	1.50	2.25	18.50		
舗装切断工 (As)	133.38	0.88	2.80	6.86	21.68	8.32	22.52	18.60	21.60	118.60	2.36	1.46	3.00	4.50	37.00	403.56 m	404 m
舗装版破砕工 (As)	36.68	0.24	0.77	1.89	10.84	3.54	14.64	5.12	5.94	62.27	1.24	0.95	1.95	2.93	24.05	173.05 m ²	173 m ²
舗装搬運機工	1.83	0.01	0.04	0.09	0.54	0.18	0.73	0.26	0.30	3.11	0.06	0.05	0.10	0.15	1.20	8.65 m ³	9 m ³
舗装処分工	4.30	0.02	0.09	0.21	1.27	0.42	1.72	0.61	0.71	7.31	0.14	0.12	0.24	0.35	2.82	20.33 t	20 t
掘 削 工	27.14	0.25	0.82	1.57	9.00	3.78	10.83	3.94	4.93	51.68	1.03	0.70	2.03	2.43	19.96	140.09 m ³	140 m ³
埋 戻 工(機械投入)	23.44	0.23	0.74	1.31	7.63	3.32	9.31	2.61	3.23	34.90	0.69	0.46	1.53	1.64	13.39	104.43 m ³	104 m ³
路 盤 工 W≤1.8m																	
路 盤 工 W≤1.8m	36.68	0.24	0.77	1.89	10.84	3.54	14.64	5.12	5.94	62.27	1.24	0.95	1.95	2.93	24.05	68.60 m ²	69 m ²
路 盤 工 W≤1.8m																	
舗 装 工	36.68	0.24	0.77	1.89	10.84	3.54	14.64	5.12	5.94	62.27	1.24	0.95	1.95	2.93	24.05	104.45 m ²	104 m ²
残土運搬処分工	27.14	0.25	0.82	1.57	9.00	3.78	10.83	3.94	4.93	51.68	1.03	0.70	2.03	2.43	19.96	140.09 m ³	140 m ³

タイプ1 φ75 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75 延長 L = 66.69 m
 土被り H = 0.60 m

掘削埋戻



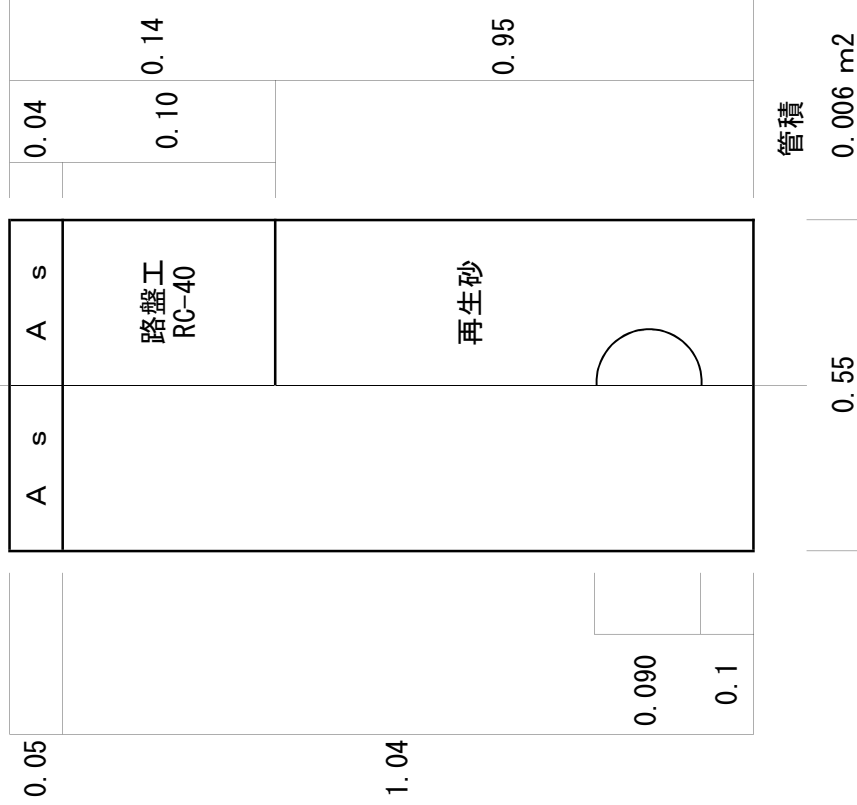
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	66.69 × 2	133.38 m
舗装版破碎工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 66.69	36.68 m2
掘削工 (機械)	0.55 × 0.74 × 66.69	27.14 m3
再生砂	(0.55 × 0.65 - 0.006) × 66.69	23.44 m3
発生土埋戻工		m3
路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 66.69	36.68 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 66.69	36.68 m2
残土処分工 (土砂)	27.14	27.14 m3
残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 66.69	1.83 m3
		4.30 t

タイプ2 φ100 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75 延長 L = 0.44 m
 土被り H = 0.90 m

掘削埋戻



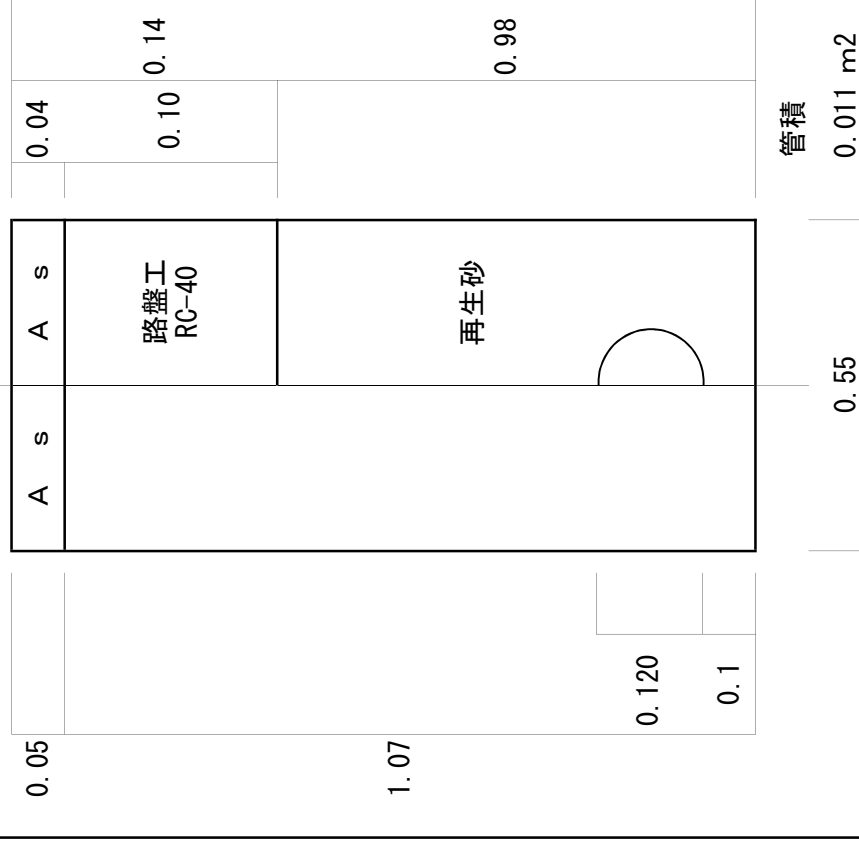
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	0.44 × 2		0.88 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 0.44		0.24 m ²
掘削工 (機械)	0.55 × 1.04 × 0.44		0.25 m ³
再生砂	(0.55 × 0.95 - 0.006) × 0.44		0.23 m ³
発生土埋戻工			m ³
路盤工 (M-30 t=00cm)			m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 0.44		0.24 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 0.44		0.24 m ²
残土処分工 (土砂)	0.25		0.25 m ³
残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 0.44		0.01 m ³
			0.02 t

タイプ3 φ100 As部 DP=0.90m

BH0.2

φ = 100 延長 L = 1.40 m
 土被り H = 0.90 m

掘削埋戻



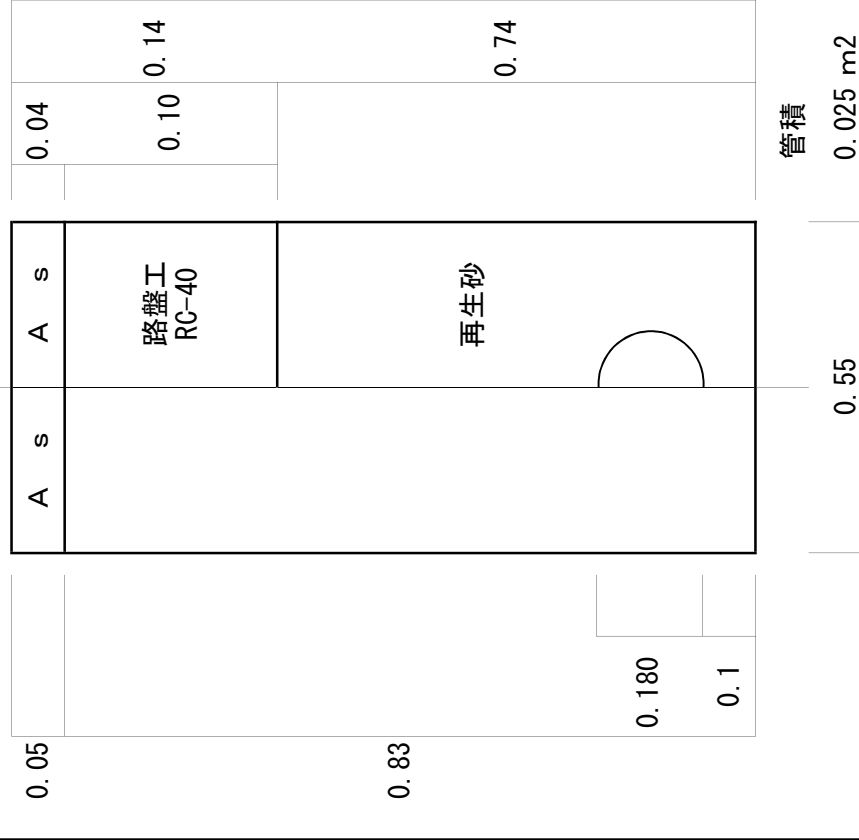
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	1.40 × 2	2.80 m
舗装版破碎工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 1.40	0.77 m ²
掘削工 (機械)	0.55 × 1.07 × 1.40	0.82 m ³
再生砂	(0.55 × 0.98 - 0.011) × 1.40	0.74 m ³
発生土埋戻工		m ³
路盤工 (M-30 t=00cm)		m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 1.40	0.77 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 1.40	0.77 m ²
残土処分工 (土砂)	0.82	0.82 m ³
残土処分工 (A s塊)	0.55 × 0.05 × 1.40	0.04 m ³
		0.09 t

タイプ4 φ100 As部 DP=1.20m

BH0.2

φ = 150 延長 L = 3.43 m
 土被り H = 0.60 m

掘削埋戻



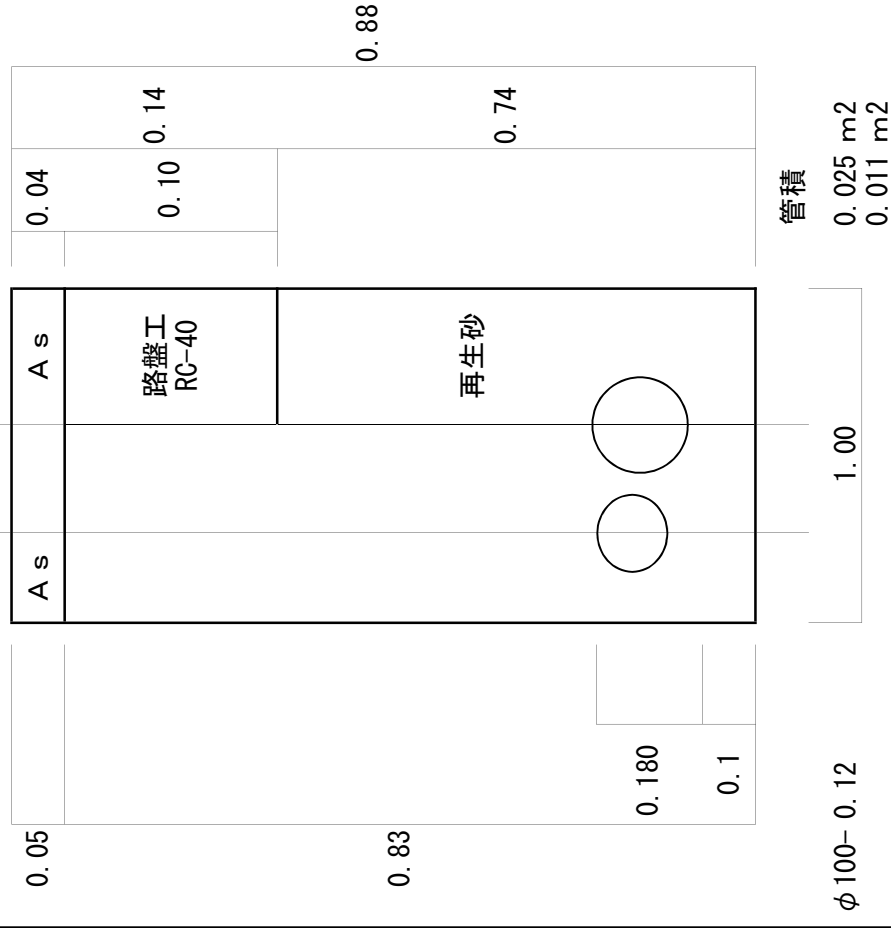
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	3.43 × 2		6.86 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 3.43		1.89 m ²
掘削工 (機械)	0.55 × 0.83 × 3.43		1.57 m ³
再生砂	(0.55 × 0.74 - 0.025) × 3.43		1.31 m ³
発生土埋戻工			m ³
路盤工 (M-30 t=00cm)			m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 3.43		1.89 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 3.43		1.89 m ²
残土処分工 (土砂)	1.57		1.57 m ³
残土処分工 (A s塊)	0.55 × 0.05 × 3.43		0.09 m ³
			0.21 t

タイプ5 φ100・φ150 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 100・150 延長 L = 10.84 m
 土被り H = 0.60 m

掘削 埋戻



舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	10.84 × 2	21.68 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.00 × 10.84	10.84 m ²
掘削工 (機械)	1.00 × 0.83 × 10.84	9.00 m ³
再生砂 (1.00 × 0.74 - 0.036) × 10.84		7.63 m ³
発生土埋戻工		m ³
路盤工 (M-30 t=00cm)		m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.00 × 10.84	10.84 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.00 × 10.84	10.84 m ²
残土処分工 (土砂)	9.00	9.00 m ³
残土処分工 (A s塊)	1.00 × 0.05 × 10.84	0.54 m ³
		1.27 t

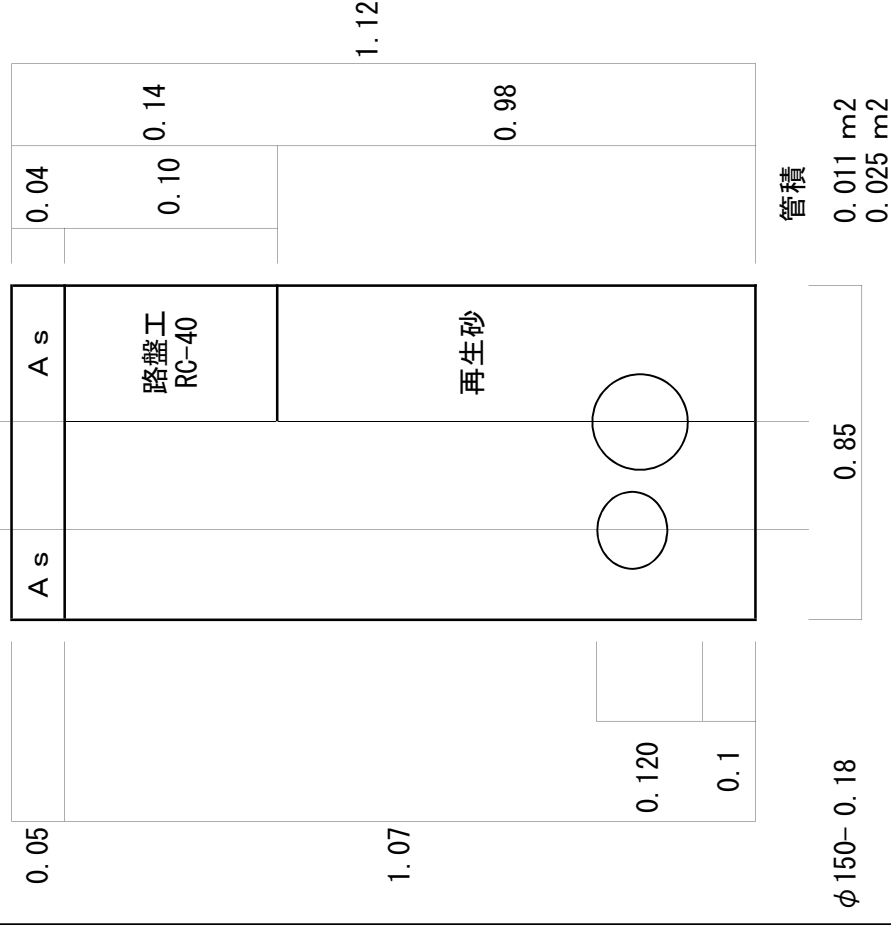
管積
0.025 m²
0.011 m²

タイプ6 φ100・φ150 As部 DP=0.90m・0.60m

BH0.2

φ = 100・150 延長 L = 4.16 m
 土被り H = 0.90 m (φ150-0.60m)

掘削 埋戻



舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	4.16 × 2	8.32 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.85 × 4.16	3.54 m ²
掘削工 (機械)	0.85 × 1.07 × 4.16	3.78 m ³
再生砂	(0.85 × 0.98 - 0.036) × 4.16	3.32 m ³
発生土埋戻工		m ³
路盤工 (M-30 t=00cm)		m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.85 × 4.16	3.54 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.85 × 4.16	3.54 m ²
残土処分工 (土砂)	3.78	3.78 m ³
残土処分工 (A s塊)	0.85 × 0.05 × 4.16	0.18 m ³
		0.42 t

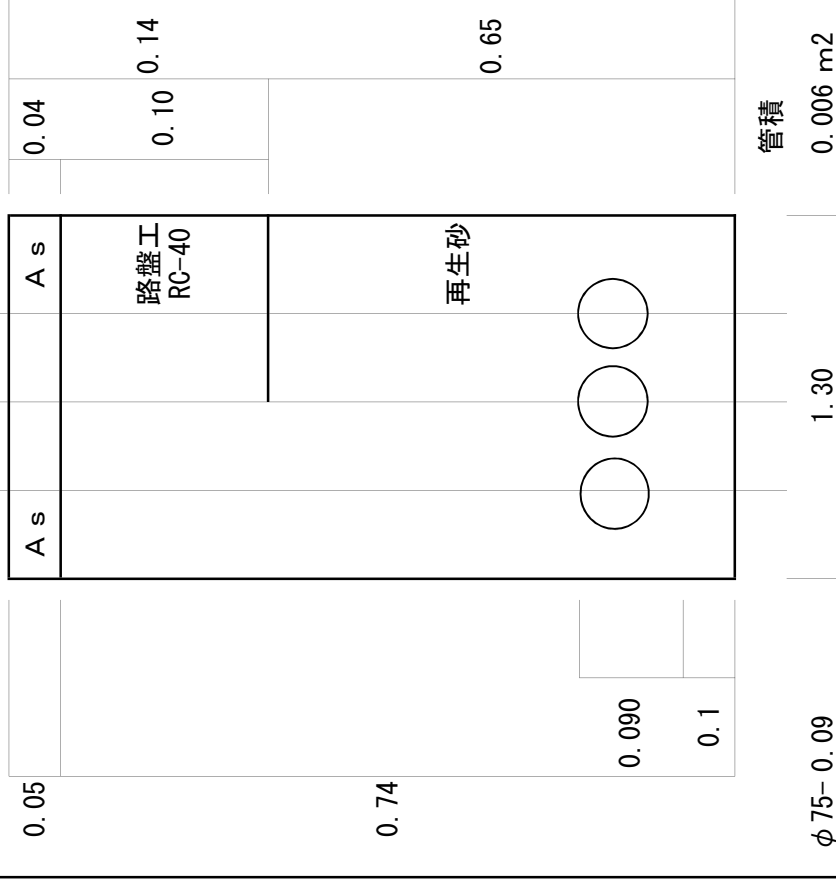
タイプ7 φ75~3 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75~3 延長 L = 11.26 m

土被り H = 0.60 m

掘削 埋戻



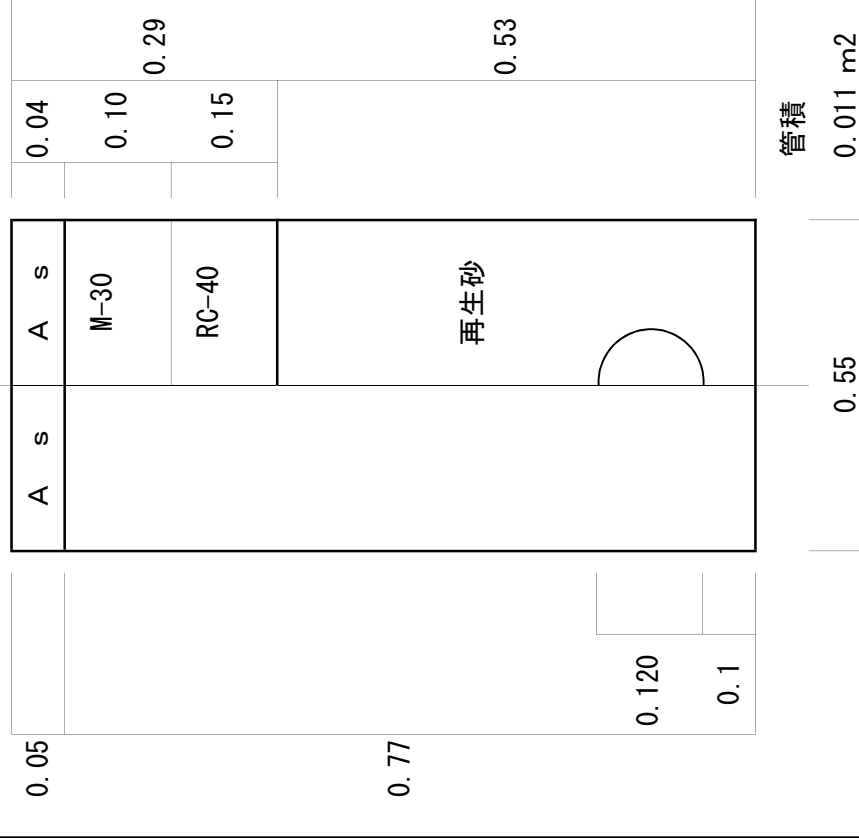
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	11.26 × 2		22.52 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.30 × 11.26		14.64 m ²
掘削工 (機械)	1.30 × 0.74 × 11.26		10.83 m ³
再生砂 (1.30 × 0.65 - 0.018) × 11.26			9.31 m ³
発生土埋戻工			m ³
路盤工 (M=30 t=00cm)			m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 11.26		14.64 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 11.26		14.64 m ²
残土処分工 (土砂)	10.83		10.83 m ³
残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 11.26		0.73 m ³
			1.72 t

タイプ8 φ100 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 100 延長 L = 9.30 m
土被り H = 0.60 m

掘削埋戻



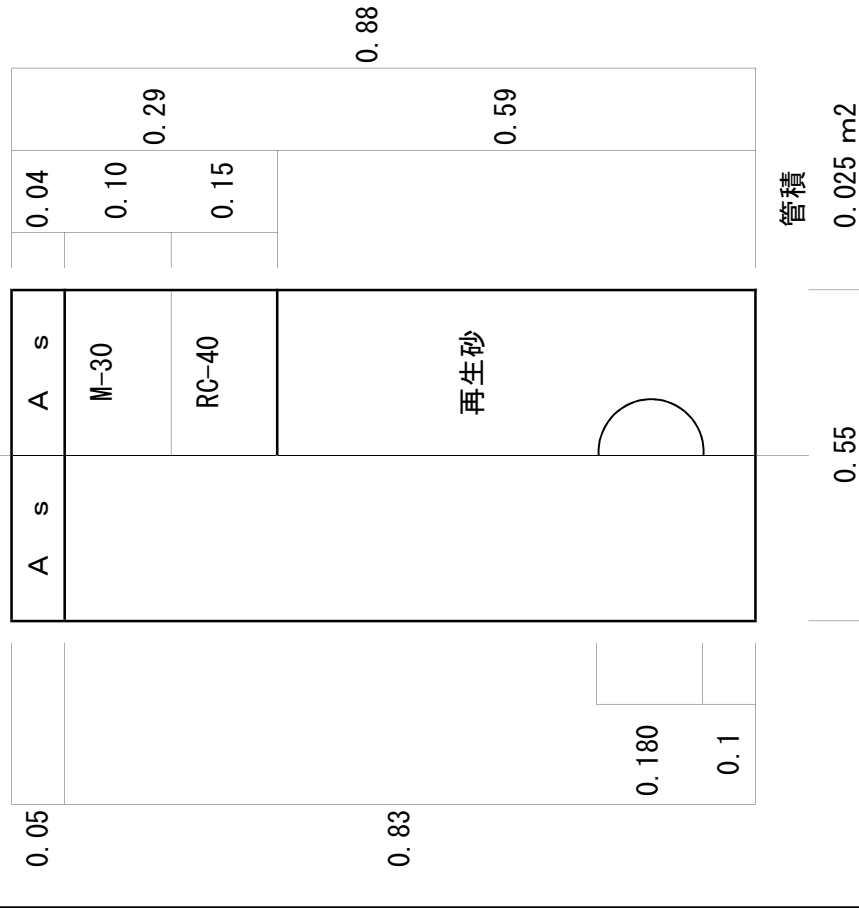
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	9.30 × 2	18.60 m
舗装版破碎工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 9.30	5.12 m ²
掘削工 (機械)	0.55 × 0.77 × 9.30	3.94 m ³
再生砂	(0.55 × 0.53 - 0.011) × 9.30	2.61 m ³
発生土埋戻工		m ³
路盤工 (M-30 t=15cm)	0.55 × 9.30	5.12 m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 9.30	5.12 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 9.30	5.12 m ²
残土処分工 (土砂)	3.94	3.94 m ³
残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 9.30	0.26 m ³
		0.61 t

タイプ9 φ150 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 150 延長 L = 10.80 m
土被り H = 0.60 m

掘削埋戻



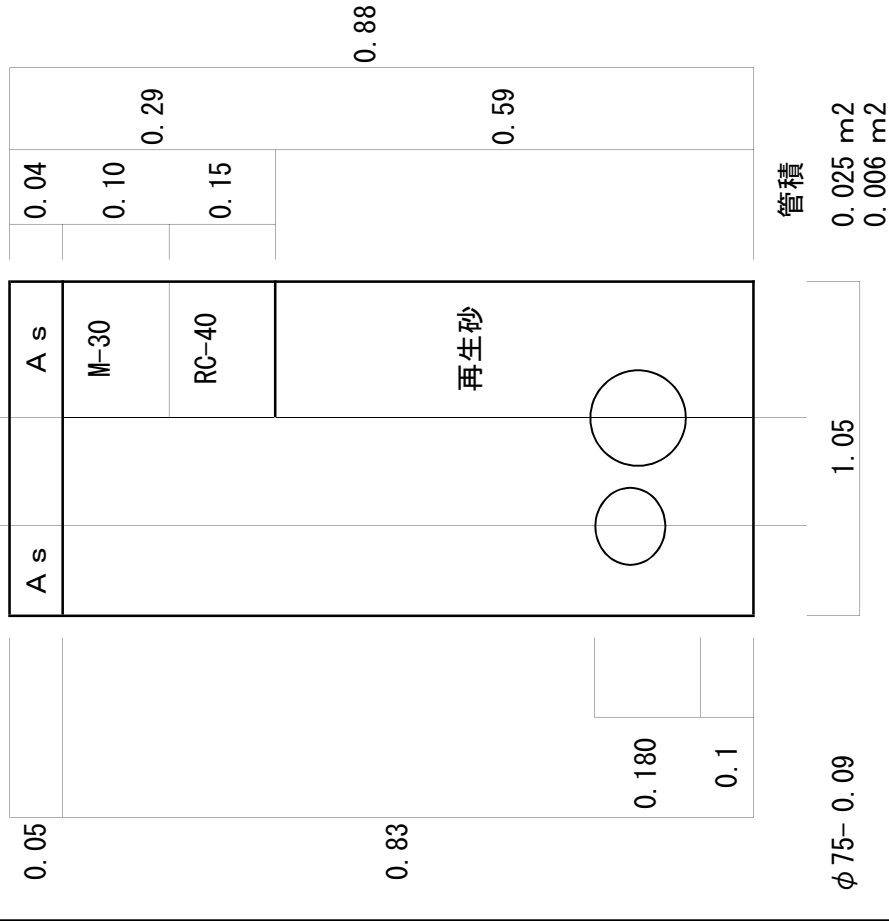
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	10.80 × 2	21.60 m
舗装版破碎工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 10.80	5.94 m2
掘削工 (機械)	0.55 × 0.83 × 10.80	4.93 m3
再生砂	(0.55 × 0.59 - 0.025) × 10.80	3.23 m3
発生土埋戻工		m3
路盤工 (M-30 t=15cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
残土処分工 (土砂)	4.93	4.93 m3
残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 10.80	0.30 m3
		0.71 t

タイプ10 φ75・φ150 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75・150 延長 L = 59.30 m
 土被り H = 0.60 m

掘削 埋戻

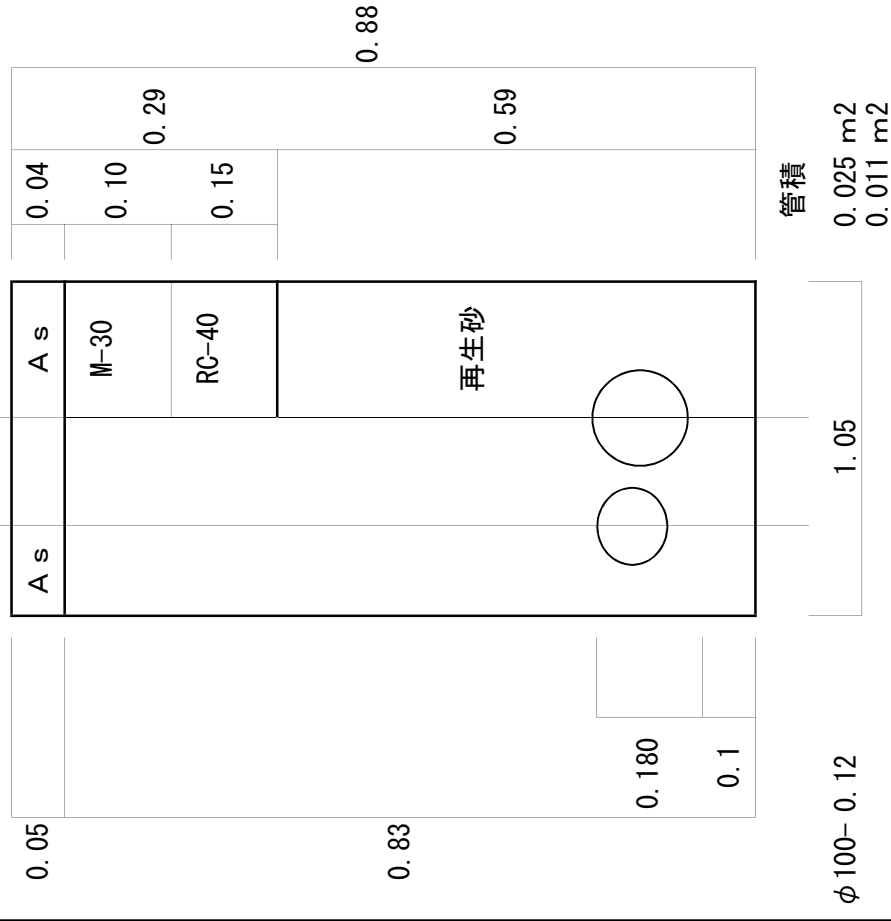


舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	59.30 × 2	118.60 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.05 × 59.30	62.27 m2
掘削工 (機械)	1.05 × 0.83 × 59.30	51.68 m3
再生砂 (1.05 × 0.59 - 0.031) × 59.30		34.90 m3
発生土埋戻工		m3
路盤工 (M-30 t=15cm)	1.05 × 59.30	62.27 m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.05 × 59.30	62.27 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.05 × 59.30	62.27 m2
残土処分工 (土砂)	51.68	51.68 m3
残土処分工 (A s塊)	1.05 × 0.05 × 59.30	3.11 m3
		7.31 t

タイプ11 φ100・φ150 As部 DP=0.60m BH0.2

φ = 100・150 延長 L = 1.18 m
 土被り H = 0.60 m

掘削 埋戻



舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	1.18 × 2	2.36 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.05 × 1.18	1.24 m2
掘削工 (機械)	1.05 × 0.83 × 1.18	1.03 m3
再生砂	(1.05 × 0.59 - 0.036) × 1.18	0.69 m3
発生土埋戻工		m3
路盤工 (M-30 t=15cm)	1.05 × 1.18	1.24 m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.05 × 1.18	1.24 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.05 × 1.18	1.24 m2
残土処分工 (土砂)	1.03	1.03 m3
残土処分工 (As塊)	1.05 × 0.05 × 1.18	0.06 m3
		0.14 t

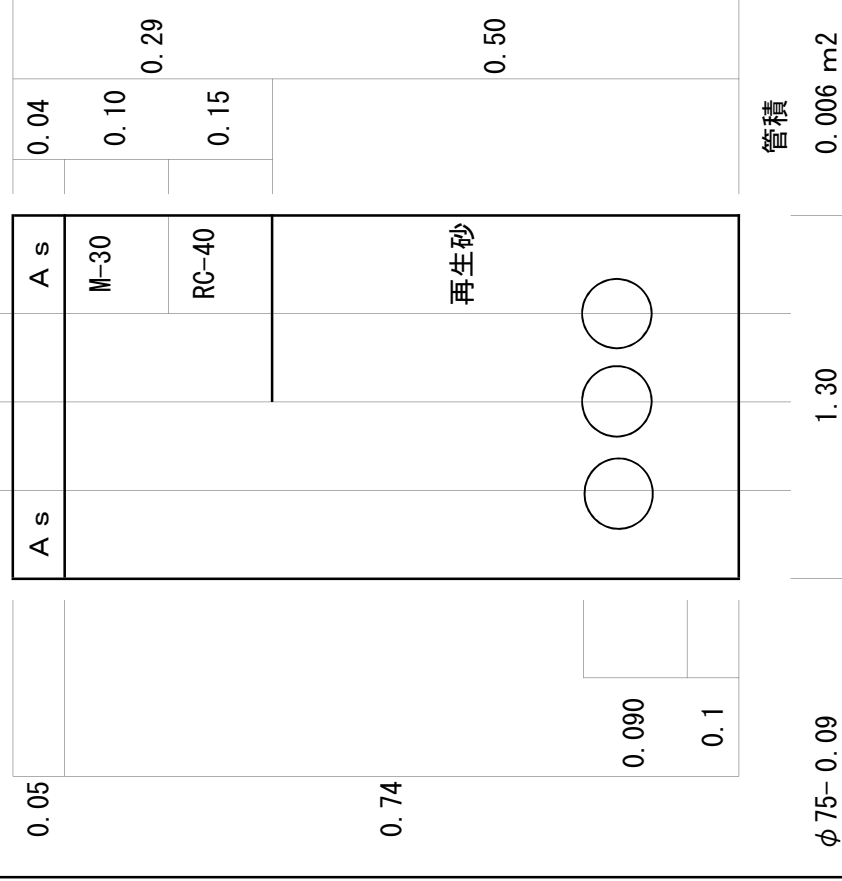
タイプ12 φ75~3 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75~3 延長 L = 0.73 m

土被り H = 0.60 m

掘削 埋戻



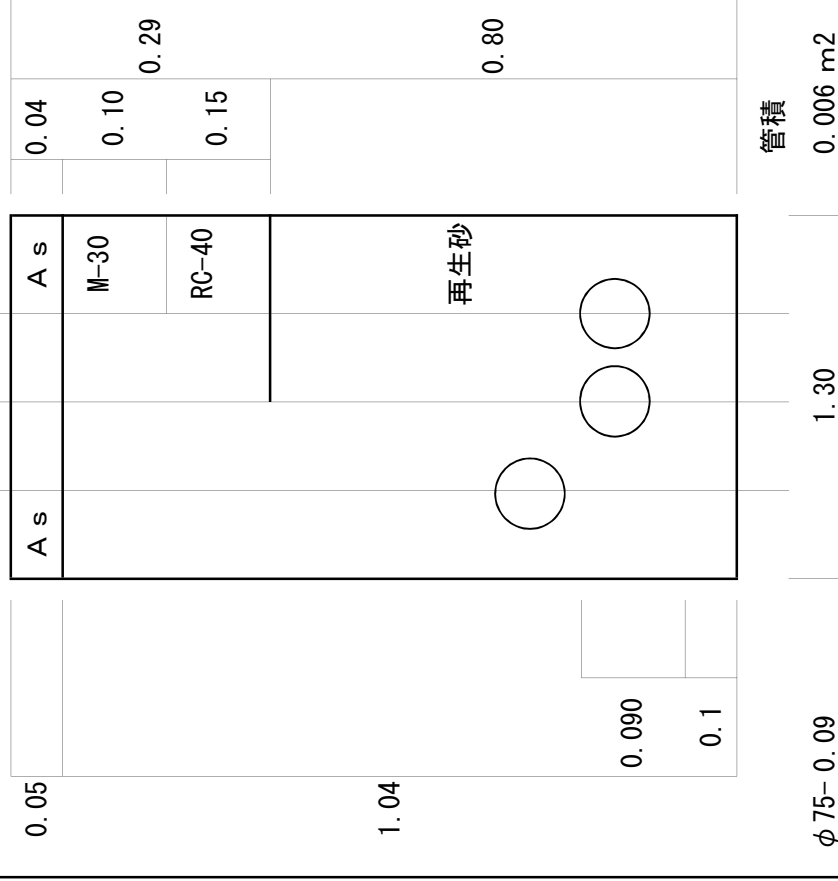
舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	0.73 × 2		1.46 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.30 × 0.73		0.95 m2
掘削工 (機械)	1.30 × 0.74 × 0.73		0.70 m3
再生砂 (1.30 × 0.50 - 0.018) × 0.73			0.46 m3
発生土埋戻工			m3
路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 0.73		0.95 m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 0.73		0.95 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 0.73		0.95 m2
残土処分工 (土砂)	0.70		0.70 m3
残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 0.73		0.05 m3
			0.12 t

タイプ13 φ75~3 As部 DP=0.60m・0.90m

BH0.2

φ = 75~3 延長 L = 1.50 m
 土被り H = 0.90 m (0.60m~1)

掘削 埋戻



舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	1.50 × 2		3.00 m
舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.30 × 1.50		1.95 m2
掘削工 (機械)	1.30 × 1.04 × 1.50		2.03 m3
再生砂 (1.30 × 0.80 - 0.018) × 1.50			1.53 m3
発生土埋戻工			m3
路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 1.50		1.95 m2
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 1.50		1.95 m2
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 1.50		1.95 m2
残土処分工 (土砂)	2.03		2.03 m3
残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 1.50		0.10 m3
			0.24 t

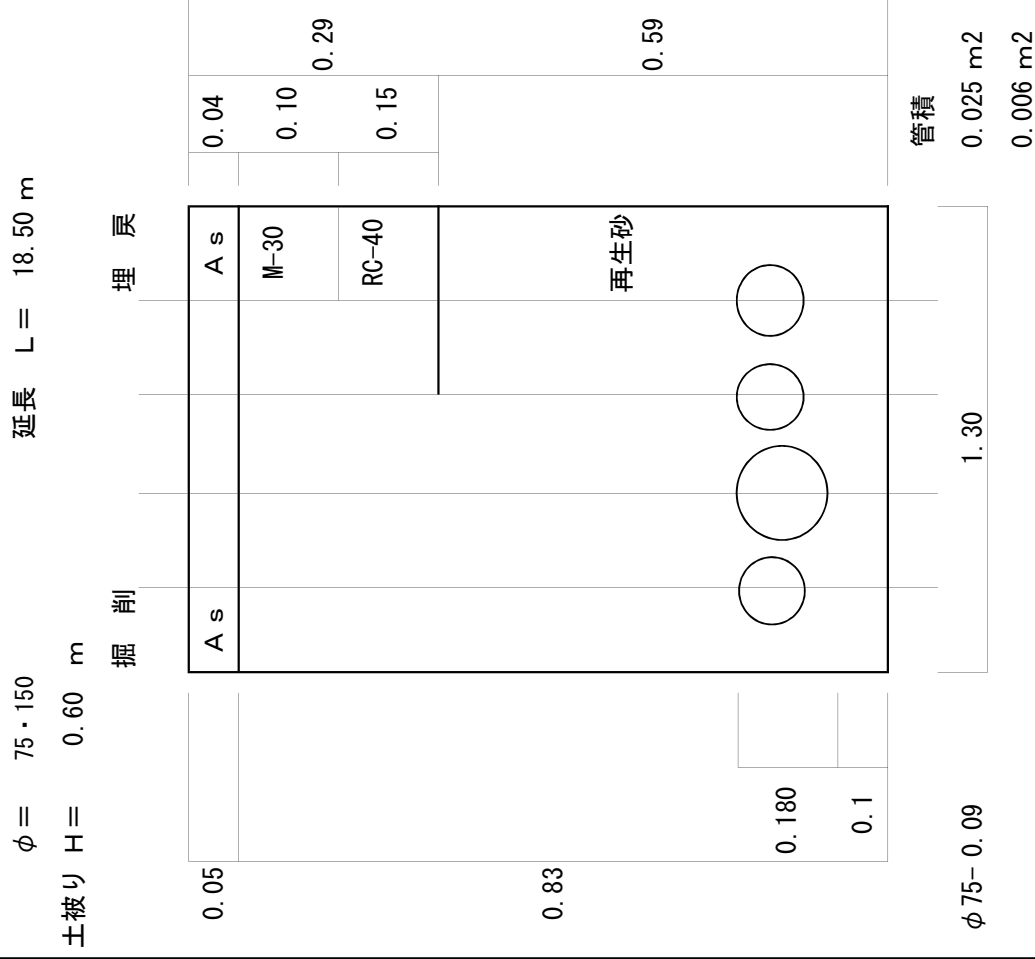
タイプ14 φ75~2・φ150 As部 DP=0.60m

BH0.2

φ = 75・150 土被り H = 0.60 m		延長 L = 2.25 m		2.25 × 2		4.50 m	
0.05	掘削	As	埋戻	As	舗装切断工 (As) (t=20cm以下)	2.25 × 2	
							As
0.83	管積	As	埋戻	M-30	掘削工 (機械)	1.30 × 0.83 × 2.25	2.43 m ³
				RC-40			
0.180 0.1	管積	As	埋戻	再生砂	発生土埋戻工	1.30 × 2.25	m ³
				再生砂			
φ75-0.09	管積	As	埋戻	再生砂	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 2.25	2.93 m ²
				再生砂			
1.30	管積	As	埋戻	再生砂	残土処分工 (土砂)	2.43	2.43 m ³
				再生砂			
0.025 m ²		管積		1.30 × 0.05 × 2.25		0.35 t	
0.006 m ²		管積					

タイプ15 φ75~3 φ150 As部 DP=0.60m

BH0.2



舗装切断工(As) (t=20cm以下)	18.50 × 2		37.00 m
舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.30 × 18.50		24.05 m ²
掘削工 (機械)	1.30 × 0.83 × 18.50		19.96 m ³
再生砂	(1.30 × 0.59 - 0.043) × 18.50		13.39 m ³
発生土埋戻工			m ³
路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 18.50		24.05 m ²
路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 18.50		24.05 m ²
舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 18.50		24.05 m ²
残土処分工 (土砂)	19.96		19.96 m ³
残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 18.50		1.20 m ³
			2.82 t

4. 桑西水源 場内整備工

桑西水源場内整備工 数量集計表

No.1

名称	形状・寸法	数量	単位	摘要
1. 資材				
忍返し付フェンス	H=1.8m	76.5	m	
フェンス基礎ブロック	□250×250×450	39	個	
門扉	H=1.8m W=3.0m	4	組	
門扉基礎ブロック	□400×400×600	8	個	
門扉基礎ブロック	□200×200×200	4	個	
2. 労務				
フェンス設置工	H=1.8m	76.5	m	
(基礎工事費含む)				
フェンス門扉設置工	H=1.8m W=3.0m	4	箇所	
(基礎工事費含む)				
フェンス撤去工	H=1.8m	10.7	m	
3. 土工				
基礎掘削		6.4	m ³	
碎石基礎	RC-40 t=10cm	1.1	m ²	
基礎埋戻	発生土	4.5	m ³	
場内路盤	RC-40 t=10cm	180.2	m ²	
場内舗装	As舗装 t=4cm	180.2	m ²	
残土処理工	4t 10.0km	1.9	m ³	
残土処分費	土砂	1.9	m ³	

桑西水源場内整備工 数量表

名称	計算式	数量	単位
1. 資材			
直忍付フェンス	H=1.8m (48.88+13.20+13.20+13.20)-3.0×4箇所 = 76.480	76.5	m
フェンス基礎ブロック	□250×450 76.48÷2m = 38.240	39	個
門扉	H=1.8m W=3.0m	4	組
門扉基礎ブロック	□400×600 2×4箇所 = 8.000	8	個
門扉基礎ブロック	□200×200 1×4箇所 = 4.000	4	個
2. 労務			
フェンス設置工 (基礎工事費含む)	H=1.8m (48.88+13.20+13.20+13.20)-3.0×4箇所 = 76.480	76.5	m
フェンス門扉設置工 (基礎工事費含む)	H=1.8m W=3.0m	4	箇所
フェンス撤去工	H=1.8m 10.66 = 10.660	10.7	m
3. 土工			
基礎掘削	フェンス基礎 □250×450 0.45×0.45×0.55H×39箇所 = 4.344		
	門扉基礎 □400×600 0.60×0.60×0.70H×8箇所 = 2.016		
	計 6.360	6.4	m ³
砕石基礎	フェンス基礎 t=10cm □250×450 0.45×0.45×0.10H×39箇所 = 0.790		
	門扉基礎 t=10cm □400×600 0.60×0.60×0.10H×8箇所 = 0.288		
	計 1.078	1.1	m ³
基礎埋戻	フェンス基礎 □250×450 4.344-0.25×0.25×0.45H×39箇所 = 3.247		
	門扉基礎 □400×600 2.016-0.40×0.40×0.60H×8箇所 = 1.248		
	計 4.495	4.5	m ³
場内路盤	RC-40 図面より t=10cm 147.800+10.800+10.800+10.800 = 180.200	180.2	m ²
場内舗装	As舗装 図面より t=4cm 147.800+10.800+10.800+10.800 = 180.200	180.2	m ²
残土処理工	4t 10.0km 6.360 - 4.495 = 1.865	1.9	m ³
残土処分費	土砂 = 1.865	1.9	m ³